

# 四日市市予算とその使い道



予算とは、その1年度の間、市にどのくらいの収入(歳入)があり、どのような行政サービスにいくら使うか(歳出)を計画したものです。

今回の特集では、今年度の予算のあらましから、その使い道と主な取り組みについて紹介します。

(※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しており、合計が合わない場合があります)

## 平成26年度予算の特徴は?

### 「第2次推進計画」に掲げる事業に優先的、集中的に予算を配分

平成26年度は、総合計画(※)に基づく具体的な実施事業を示した「第2次推進計画(平成26~28年度)」の1年目になります。「第2次推進計画」に掲げる事業に優先的、集中的に予算を配分することで、まちづくりの目標である「みんなが誇りを持てるまち四日市~安心、元気・魅力、絆のあるまち~」を目指します。

(※)総合計画とは、平成23年度からの四日市市の10年間のまちづくりの方向性を示したものです



### 平成26年度の予算規模は?

2,487億3,540万円  
(前年度比176億4,812万円 増)

3種類の会計に分かれています。



#### 内訳

#### 一般会計

1,078億9,000万円

(前年度比51億9,256万円 増)

行政運営の基本的な経費を計上する会計(防災や教育、福祉、道路整備など)

#### 特別会計など

777億9,346万円

(前年度比77億8,366万円 増)

一般会計とは区別して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)

#### 企業会計

630億5,194万円

(前年度比46億7,189万円 増)

地方公営企業法により事務処理をする会計(上下水道、市立四日市病院)

### この分野に特に力を入れます

子育て支援や教育環境の充実



文化や観光、スポーツの振興

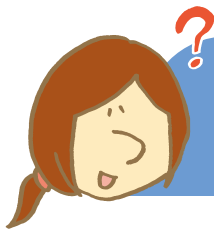


防災対策の充実



産業振興施策の推進

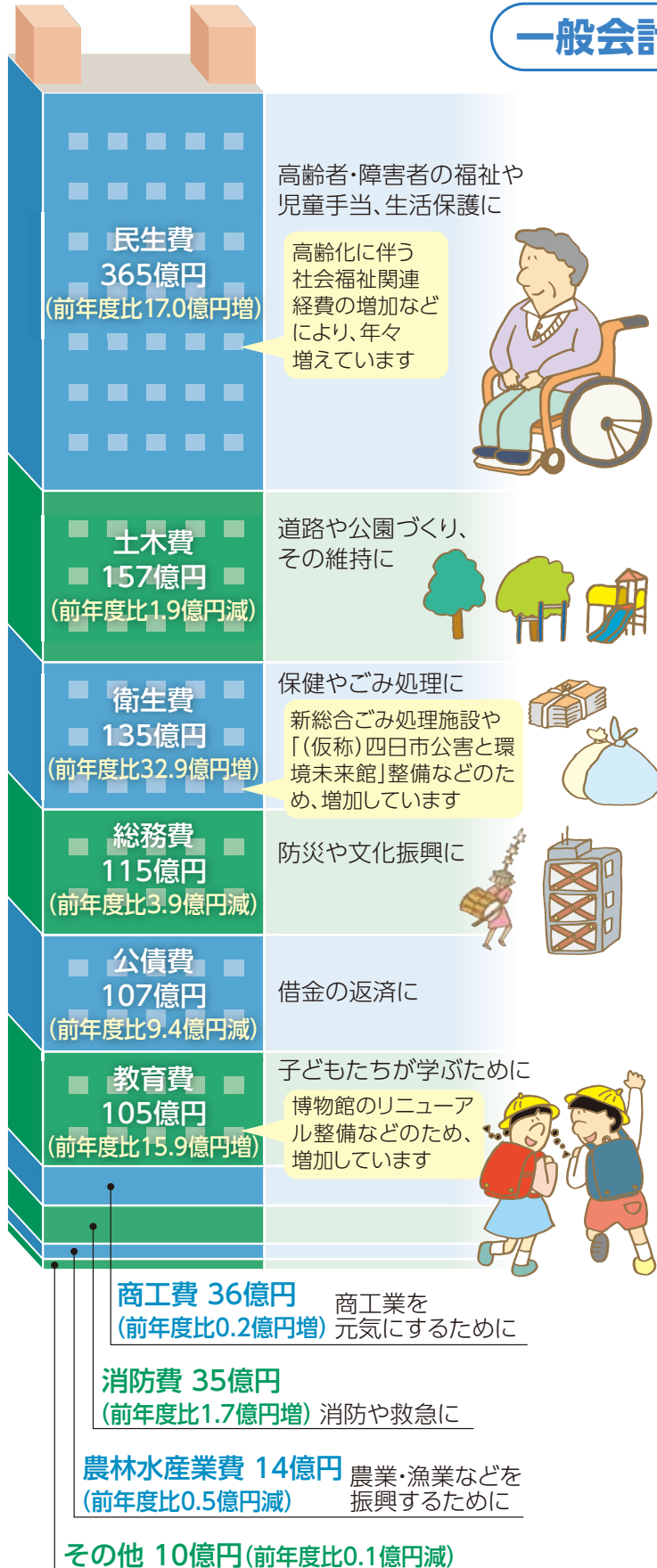




どのように使われるの？

## 一般会計 歳出

1,078億9,000万円  
(前年度比51億9,256万円 増)



## 平成26年度の主な取り組み

### 子育て支援や教育環境の充実

#### 子どもの疾病の 早期発見・早期治療のために

**【拡充】子ども医療費の助成**  
(予算額)7億250万円

これまで小学6年生までを対象としていた医療費助成を、入院分のみ、4月診療分から中学3年生まで拡充しました。

保護者の経済的負担を軽減し、子どもの疾病の早期発見・早期治療を促進します。

#### 子どもの感染症を予防するために

**【新】任意予防接種(水ぼうそう・おたふくかぜ)の助成** (予算額)1,592万円

感染力が強い水ぼうそうとおたふくかぜは、保育園・幼稚園への入園前に予防接種を受けることが望ましいことから、接種費用の一部を助成します。

#### 子どもたちが良好な環境で 学習できるように

**【新】小・中学校に空調設備を整備**  
(予算額)1億6,290万円

小・中学校において、すべての生徒が使用する特別教室(図書室、視聴覚室、音楽室)に、空調設備を整備するための設計を行うとともに、図書室について空調設備を設置します。

文化や観光、スポーツの振興

公害の歴史と環境改善への取り組みを  
後世へ確実に継承するために

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の整備  
(予算額)6億979万円

公害が二度と繰り返されることがないように、公害発生当時の被害や裁判の記録、市民・企業・行政の取り組みを紹介します。また、環境改善のまちづくりの中で得た知識や経験、技術を国内外に情報発信することにより、都市イメージの向上や公害防止・環境学習につなげ、環境先進都市として、本市のシンボルとなるような施設にしていきます。

四日市ならではの特色ある博物館として  
より一層の充実を図るために

博物館リニューアル (予算額)11億9,790万円

常設展示は、四日市の各時代の特徴を象徴する建物や道具を、原寸大で再現する体感型の展示に改修します。プラネタリウムは、投映機器を新しくします。投映できる星の数は、1億4,000万個と、世界最多になります。



プラネタリウムイメージ図

地域の活性化・都市のイメージアップに向けて  
観光推進事業 (予算額)1,859万円

本市の魅力的な観光素材を観光資源として磨き上げるとともに、観光大使などを活用した積極的な情報発信・PR活動を行います。今年度は新たに、本市への来訪者の目に留まりやすい場所に、四日市の写真を使ったPR看板を設置します。



観光大使のMs OOJA(ミス オオジャ)さん  
東京の三重テラスのイベント(平成26年2月)より

平成27年3月に、  
「(仮称)四日市公害と環境未来館」開館！  
同時に、博物館リニューアル！



展示は、古代から近世までを「博物館」、近代以降を「(仮称)四日市公害と環境未来館」で扱い、両館を通じて四日市の歴史を連続して見ていただけるようになります

平成33年度に開催される「みえ国体」に向けて  
スポーツ施設の整備計画を策定 (予算額)500万円

平成33年度に開催される「みえ国体」を見据え、体操、サッカー(少年)、硬式テニス、軟式野球などのスポーツ施設整備計画を策定します。

スポーツを通じてまちが元気になるように  
スポーツ活動を推進 (予算額)650万円

市民がスポーツを通して、「元気な四日市」を実感できるよう、四日市シティロードレース大会など、市内のスポーツイベントを開催します。また、スポーツに親しみきっかけづくりや人材の育成につながるように、トップアスリートによるスポーツイベント・教室を開催します。

トップアスリートによる  
スポーツ教室





## 防災対策の充実

### 災害時の情報発信を強化

#### 防災行政無線(固定系)の整備 (予算額)3億4,590万円

大規模地震や風水害などの災害時に、幅広く避難・災害情報を発信する防災行政無線をデジタル化して更新するとともに、地域に設置した防災行政無線の屋外拡声子局(スピーカー)を増設します。



屋外拡声子局

### 避難所としての機能の充実を図るために

#### 避難施設の整備 (予算額)2億3,290万円

津波による被害が想定される地域の小・中学校に、屋外階段や屋上手すりなどを整備します。

また、避難所生活を想定して、学校の公共下水道接続に伴い不要となる浄化槽を、災害時の便槽として活用できるように整備します。



屋外階段

### その他にも…

**【新】防災拠点施設整備の基本調査に**  
(予算額)130万円

**【新】新消防分署を設置するための基本調査に**  
(予算額)200万円

## 産業振興、環境対策、都市交通、医療対策の充実

### 地域経済の活性化と雇用の維持・安定を目指して

#### 四日市市産業活性化推進事業 (予算額)52万円

昨年度末に提言を受けた産業活性化戦略の具体化を図るため、「四日市市産業活性化に関する懇談会」を開催します。

そして、時代のニーズに合った、有効な産業振興施策を推進し、日本の産業界をリードする産業モデル都市を目指します。

### 安定したごみ処理を行うために

#### 新総合ごみ処理施設を整備 (予算額)34億5,125万円

老朽化した北部清掃工場に替わる新たなごみ処理施設を、平成28年度の稼働を目標に整備します。



完成予定図

### 乗り継ぎ環境の改善を図るために

#### **【新】近鉄四日市駅西口広場整備の基本方針を策定** (予算額)300万円

四日市市都市総合交通戦略に基づき、中心市街地における鉄道やバスなどの乗り継ぎ環境の改善を図るため、西口広場整備の基本方針を策定します。

### がん治療の充実を図るために

#### **【新】市立四日市病院において高精度放射線治療棟の実施設計** (予算額)3,000万円

1階部分に、放射線治療の技術の進歩に対応した高精度放射線治療装置の導入を図るとともに、2階部分に化学療法室を設置することで、放射線治療と化学療法を組み合わせた治療の充実を目指します。

### その他にも…

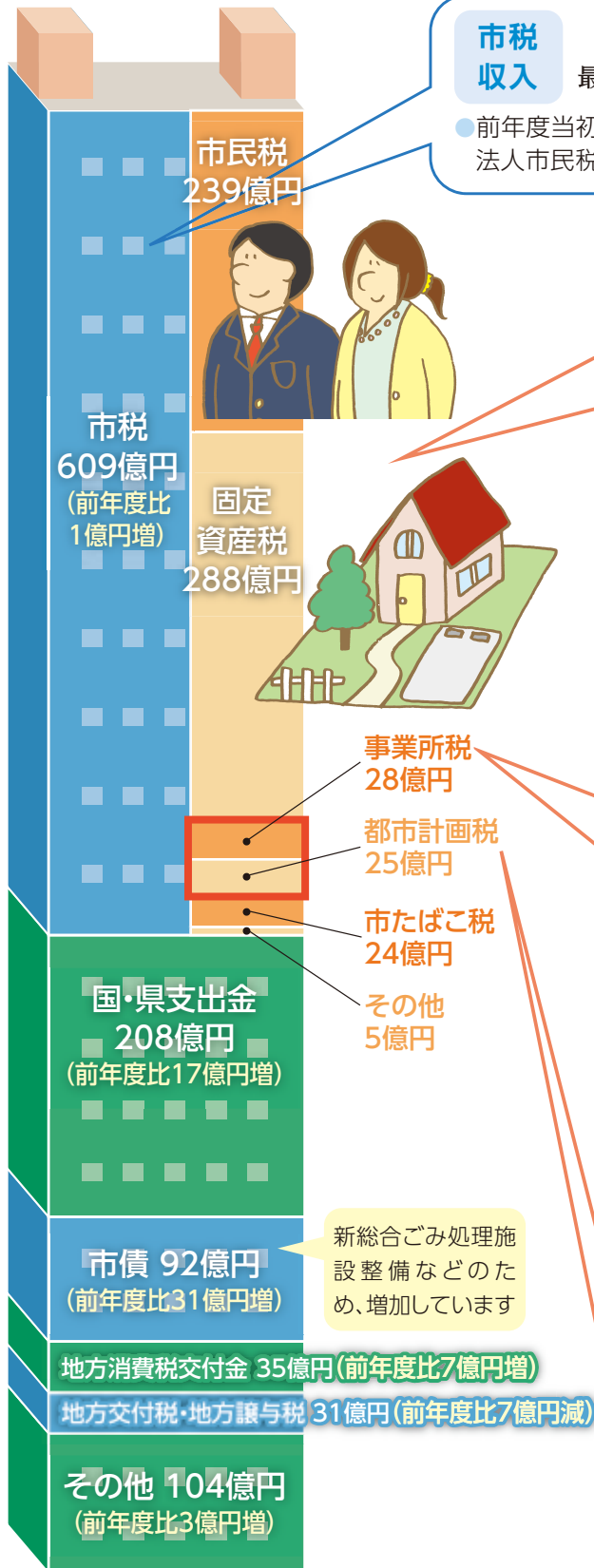
#### **【新】内部・八王子線公有民営化への準備と利用促進事業に** (予算額)935万円



# 収入の見通しは？

## 一般会計 歳入

1,078億9,000万円 (前年度比51億9,256万円 増)



### 市税収入

市税収入が歳入の6割を占め、その中でも固定資産税の収入が最も大きくなっています。

●前年度当初予算と比べると、固定資産税(償却資産)で減収となるものの、法人市民税で増収が見込めることなどから、1億円の増加を見込んでいます

### 固定資産税

土地、建物、償却資産にかかる税金です。市税収入の約5割を占めています。

●産業都市である四日市市では、固定資産税の中でも、事業用資産にかかる償却資産分の割合が大きいのが特徴です

## 事業所税と都市計画税の使い道

### 事業所税

人口30万人以上の都市などで、一定規模以上の事業を営む法人や個人事業者にかかる税金です。



事業所税を活用して整備した河原田小学校

### 平成26年度 事業所税の主な使い道

- 道路の整備に 8億2千万円
- 下水道の整備に 6億6千万円
- 小・中学校の整備に 3億9千万円
- 文化・スポーツ施設の整備に 3億4千万円
- 埋立処分場の整備に 2億6千万円

※事業所税を活用した主な施設には表示看板を設置しています

### 引き続き事業所税を減免します

市内の中小企業の負担を減らすため、引き続き事業所税を減額する特例措置を実施します。

### 都市計画税

市街化区域内にある土地・建物にかかる税金です。公園・道路・下水道などの都市計画事業・土地地区画整理事業に使われます。

### 平成26年度 都市計画税の主な使い道

- 雨水・汚水の処理などに 19億7千万円
- 市街地にある道路の整備などに 1億3千万円
- 公園緑地の整備などに 7千万円

この校舎は事業所税を活用し整備されたものです。 四日市市

新総合ごみ処理施設整備などのため、増加しています



## 特別会計・企業会計など

	区分	概要	予算額 (億円)	前年度比 (億円)	一般会計からの 繰入金(億円)
特別会計	競輪事業	通年でナイトー競輪を開催し売り上げを確保。競輪事業での収益のうち1億円を一般会計へ繰り出し、社会福祉事業などに活用	172	+25	0(1億円を一般会計へ繰り出し)
	国民健康保険	市民の皆さんが安心して生活できるよう必要な医療制度を実施	325	+36	14
	食肉センター食肉市場	より安全で高品質な食肉を安定供給するための事業	6	+1	4
	介護保険	介護が必要な人への介護保険給付や総合相談支援を実施	205	+18	29
	後期高齢者医療	75歳以上の高齢者の医療制度を実施	54	+5	28
	その他	土地区画整理事業、農業集落排水事業など	16	-7	6
企業会計	水道事業	安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するための、水道設備の維持・運営	105	+4	0
	市立四日市病院事業	急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、安全・安心で良質な医療を提供	254	+35	10
	下水道事業	浸水被害を防ぐための「雨水対策」、生活環境の向上やきれいな川や海を保つ「汚水対策」を実施	272	+8	68
財産区	桜財産区	財産の一部をアスレチックコースなどとして貸し付け、その収入で山林の管理を実施	0.4	0 (※)	0

(※)前年度比40万円増



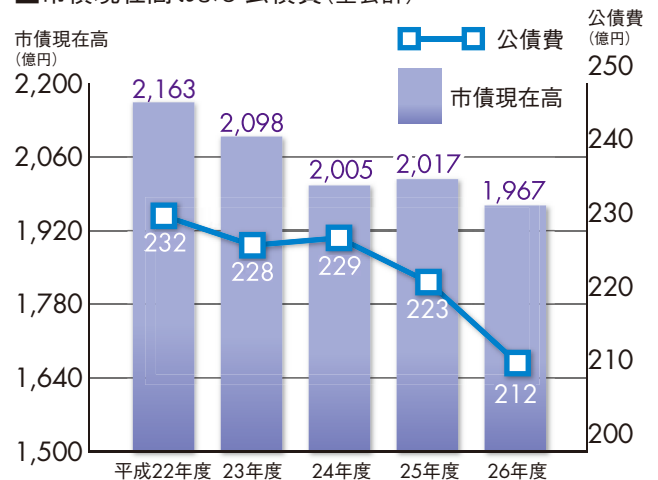
#### 市債残高(平成26年度当初予算ベース)

**一般会計 768億円**    **全会計 1,967億円**

#### 市債の残高は徐々に減少しています

市では、学校の建設や道路を造る際、年度間の財源調整や世代間の負担の公平を図るため市債を発行しています。近年は、返済額以上の借入れを行わないことにより残高を徐々に減らしていて、公債費の軽減にも努めています。

#### 市債現在高および公債費(全会計)



※市債現在高は各年度決算ベース、平成25年度以降は予算ベース

#### 編集後記

予算を知ることは金額の把握だけではなく、まちづくりの方向性を知ることにもなります。この特集を通して予算にも興味を持っていただければと思います。(財政経営課 伊藤、広報広聴課 三谷)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政経営課 ☎354-8130 FAX 359-0275

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974